

議会だより

みなみふらの



第3回定例会概要

2~3P

一般質問

4~5P

町長の行政報告

5~8P

教育長の教育行政報告

8~9P

臨時会・研修会

10~11P

議会の動き

12P



平成29年第3回定例町議会は、9月20日に招集され、会期を9月20日から22日までの3日間と決めた後、町長の行政報告6件と教育長の教育行政報告6件、議会運営委員会及び総務常任委員会、総合交通体系等調査特別委員会調査報告、議員派遣報告があり、1議員による一般質問が行われました。（質問の内容と答弁の要旨は4～5ページに掲載）その後、報告案件として平成28年度南富良野町健全化判断比率及び資金不足比率の報告を受けました。引き続き、総務常任委員会に平成29年度一般会計補正予算他1特別会計補正予算、財物事故に関する和解及び損害賠償1件の計3件が付託された後、工事請負契約1件を可決し1日目を終了しました。

3日目の9月22日は、総務常任委員会に付託された平成29年度一般会計補正予算、財物事故特別会計補正予算、財物事故に関する和解及び損害賠償1件の計3件について、委員長から「原案を可とする」報告がなされ、報告のとおり可決されました。引き続き、条例の改正1件、補償等組合等の規約改正計3件について、審議の結果、原案のとおり可決しました。その後、教育委員会委員の任命について、無記名投票で採決が行われ、全議員の賛成で原案のとおり同意することに決定しました。平成28年度一般会計ほか各特別会計歳入歳出決算の認定については、議員6名による決算審査特別委員会を設置、付託し、閉会中の会計の結果、原案のとおり可決し、全ての日程を終え定例町議会を終了しました。

平成29年度各会計補正予算	補 正 額	補 正 後	助成金	北海道町村議会議員公務災害補償等組合等の規約改正計3件について、審議の結果、原案のとおり可決しました。その後、教育委員会委員の任命について、無記名投票で採決が行われ、全議員の賛成で原案のとおり同意することに決	システム改修委託料	民間賃貸共同住宅建設事業
一般会計	4041万円	42億6458万円	340万円	313万円	107万円	助成金
国民健康保険事業特別会計	—	4億1436万円	340万円	313万円	107万円	助成金
後期高齢者医療事業特別会計	—	3869万円	340万円	313万円	107万円	助成金
介護保険特別会計	90万円	2億7955万円	340万円	313万円	107万円	助成金
簡易水道事業特別会計	—	3億7709万円	340万円	313万円	107万円	助成金
公共下水道事業特別会計	—	1億3505万円	340万円	313万円	107万円	助成金
合 计	4131万円	55億 932万円	340万円	313万円	107万円	助成金

条例の一部改正

人事案件

決算審査特別委員会の設置

■工事請負契約

契約の目的	内の沢川災害復旧工事
契約の方法	地域限定型一般競争入札による契約
契約金額	6218万6400円 (うち消費税及び地方消費税の額460万6400千円)
契約の相手方	株式会社吉岡建設

○南富良野町地域包括支援センターが包括的支援事業を実施するために必要なものに関する基準を定める条例

地域包括支援センターに配置されている主任介護支援専門員の資格要件を「専門員研修の修了後5年ごとに受講が必要となる更新研修を修了していること」として規定を追加する改正です。

○教育委員会委員の任命
金村萌絵氏（落合）を教育委員に任命したいとして同意を求める議案が町長から提出され、無記名投票による採決の結果、全議員の賛成により任命に同意しました。

その他

○財物事故に関する和解及び損害賠償

山村広場ゴルフ練習場が起因となって発生した財物事故（乗用車後部窓ガラス破損）に関し、車両の所有者との和解及び損害賠償を行うものであります。

○北海道町村議會議員公務災害補償等組合規約の変更
○北海道市町村総合事務組合

規約の変更
○北海道市町村職員退職手当
組合規約の変更
構成団体の名称変更による
規約の変更です。



委員会の構成	委員会	委員会	委員会	委員会	委員会	委員会
員	員	員	員	員	員	員
小出川	酒井	金	大道	阿部		
直由	勝彦	年強	重治	修一		

議決された意見書（要旨）

林業・木材産業の成長産業化に向けた施策の充実・強化を求める意見書

- 市町村が継続的に森林の整備などを着実に進められるよう、「森林環境税（仮称）」を早期に創設すること。税制度の創設に当たっては、都道府県の積極的なかかわりのもと、森林の整備はもとより木材の利用を含め幅広く活用できる仕組みとすること。
- 森林の多面的機能を持続的に發揮し、林業・木材産業の振興と山村における雇用の安定化を図るために、森林整備事業及び治山事業の財源を十分かつ安定的に確保すること。
- 森林資源の循環利用を通じて林業・木材産業の成長産業化を実現するため、地域の実情を十分に踏まえ、森林整備から木材の加工・流通、利用までの一体的な取り組みに対する支援措置を充実・強化すること。

【提出者】金 強 議員 【賛成者】阿部修一 議員・鹿野重博 議員

【提出先】衆・参議院議長・内閣総理大臣・財務大臣・総務大臣・文部科学大臣・農林水産大臣
経済産業大臣・国土交通大臣・環境大臣・復興大臣

議決された意見書は、議長名でそれぞれの関係省庁に提出しています。

問 将来的な種子馬鈴薯 作付のあり方は

答 産地の縮小に繋がらないよう 協議・検討する

一般質問（要旨）
酒井 年夫 議員



**①種子馬鈴薯の作付面積・
確保について**

酒井 本町のブランド品とも言われる種子馬鈴薯の生産者が離農すると同時に生産枠が返納され、他町村に移つてしまい、結果的に本町の作付面積が減少していく現況にある。生産組合の中で1戸の作付面積に一定の上限を設け、作付しているようであるが、生産者の努力で可能性を含めて、生産枠を減らさないようにできいか検討・協議をすべきではないか。今後もこのような傾向が増えることが予想されるが、農業行政における将来的な種子馬鈴薯作付のあり方を伺う。

町長 種子馬鈴薯の生産は、その品質を厳格に維持するために、圃場の条件や輪作体系についての規制として植物防疫法、北海道種馬鈴薯生産販売取締条例等の法令に基づき、年度ごとに知事が定めた北海道種馬鈴薯生産管理基準並びに本町の種子馬鈴薯生産者により組織された南富良野町種子馬鈴薯生産組合が定めた管理基準に



行政としては、これらに対しても新たに生産をする農家を増やすことができるのか。また、生産者自らが定めて遵守している個別作付上限面積規制を緩和す

農業委員会長 様幾寅地区の畠作の作付面積は約380ha、農家戸数は22戸である。1戸当たりの作付面積としては、10ha弱から35ha程度まで経営形態によって幅がある。こうした中、畑作地帯として将来にわたって安定的に経営を継続させるために必要な経営規模については、幾寅地区にお

基づいて行われている。

さらに、同生産組合員の申し合わせ事項として、個別の

規制を設け、これらを組合員が遵守することで品質確保に努めおり、南富良野ブランドとして需要者から高い評価を得ていただいていると理解をしている。

本町における種子馬鈴薯の作付け状況は、平成29年度は21名の登録生産者が合計約77haを作付けしていると承知を

り生産者が減少すると、結果的に生産枠が減少するという事態が生じ、将来的に産地の縮小にも繋がりかねないことを懸念している。

少するという事態が生じ、将来的に産地の縮小

また、幾寅地区における農地の賃貸面積、戸数はどの程度あるのか。今後とも賃貸を中心経営を考えもらうのか、農業委員会としての基本的な考え方を伺う。

酒井 農業のプロ集団である農業委員会として、幾寅地区の農家1戸あたりの経営面積を将来の畑作経営を継続させるために、どの程度の面積を所有することが必要と考えいるのか。

近年ではその需要が供給を上回っている状況が続いているため、作付け希望者に対しては希望どおりに配分されている

している。作付面積については、ホクレンが全道の需給状況を勘案したうえで、原種供給の計画を立て、生産者からの希望に基づき市町村ごとに作付けの枠を配分しているが、

面積を確保することが可能なのか等についてもJAふらの、さらには生産組合とも広く議論・検討をしていかなければならぬと考えている。

面積を確保することが可能なのか等についてもJAふらの、さらには生産組合とも広く議論・検討をしていかなければならぬと考えている。



畑作地帯とは異なり、高収益作物を取り入れることで集約的な営農が行われていることもあり、当町の農業経営基盤強化促進法に関する基本的な構想においては20ha程度の目標面積が示されている。自らの経営の経験の中では、家族年齢構成や労働力等も勘案してうえで25haから30haを所有することで、より安定的な経営展開ができるものと考えて

いる。

幾寅地区における農地の賃貸借の状況については、現在の賃貸借面積は災害による一時的な賃貸借を除くと借受人が14戸、出し手が16戸で合計68・6haとなっている。これら賃貸借の事例の中には相続上の問題や血縁関係によつてすぐには売買の対象とならないケースも含まれている。本来、担い手本人が農地を所有することを必要とする土づくりが継続的に実施できるため、より安定的な経営が展開できることを考える。

ことで必

■ 災害発生に伴う復旧状況等

昨年の豪雨被害を町民の皆様とともに心に刻み、この経験をしつかりと未来に引き継ぐため、災害が発生いたしました8月31日を「南富良野町防災の日」と指定し、去る9月4日、防災力の向上と防災意識の高揚を図る取り組みといたしまして、幾寅地区の浸水被害地域の住民の方を対象に避難訓練を実施するとともに、町制施行50周年、さらにダム下流の被害軽減に寄与いたしました金山ダムの完成50周年の年にもあたりますことから、旭川地方気象台並びに地方独立行政法人北海道立総合研究所のご協力をいただき、特別講演を実施したとこ

マップの改訂準備、タイム

ラインの整備など、より災害に強いまちづくりに向け取り組みを進めています。

被

害に

対

する復旧状況等につきましては、土木施設の道路関係で、幾寅西1号線、工業団地線、落合川向線、林道2路線は既に工事が完了しており、

町長の行政報告



ろであります。また、特別講演にあわせまして、札幌開発建設部より決壊いたしました空知川堤防の復旧工事完了の報告も行つたところであります。

現在、町では災害発生を踏まえまして、防災行政無線の整備に向けた調査を実施するとともに、国並びに北海道の河川整備計画の見直しに基づくハザードマップの改訂準備、タイム

ラインの整備など、より災

害に強いまち

づくりに向け

てあります。

また、幾寅南1線につきましては、北海道が実施する空知川関連復旧工事と調整を図りながら進めてまいりますとともに、落合左岸線についても、ラフティング利用にも配意しながら、関係業者と協議

しては、北海道が実施する空知川関連復旧工事と調整を図りながら進めてまいりますとともに、国並びに北海道の河川整備計画の見直しに基づくハザードマップの改訂準備、タイム

ラインの整備など、より災害に強いまちづくりに向け取り組みを進めています。

被害に対する復旧状況等につきましては、土木施設の道路関係で、幾寅西1号線、工業団地線、落合川向線、林道2路線は既に工事が完了しており、

のうえ、進めてまいります。

次に、橋梁関係であります

事は、他の工事と施工箇所が重複しており、施工時期を調整しながら進めております。

河川関係では、松井川の復旧工事が既に完了しており、山畔地区排水路は隣接する工事と調整のうえ、工期内に完了す

復旧工事につきましても発注すべく準備を取り進めているところであります。

次に、水道施設については落合地区の2箇所の水管涵架工事、導水管復旧工事は既に完了しております、隣接する工事と調整しております。取水施設は、11月末を中途に完了する見込みで復旧工事に取り組んでまいります。

被災農地の復旧については

たしまして、復旧完了面積は
60・4 ha、進捗率は83・8%
となつております。今後、今
年度内に実施を予定している
面積は6・6 haで、年度末ま
での完了累計面積は67 haを予
定しており、進捗率としては
92・9%を見込んでおります。
残り5・1 haにつきましては
平成30年度中に完了する計画
であり、これによりすべての
農地が復旧することになります。

た部分の災害復旧工事と併せて、耐震改修工事並びに大ホールの改修工事を実施しており、11月からの利用再開を目指し、工期内に完了する見込みで工事が進められております。

同じく北海道管理河川でありますユクトラシュベツ川については、更生橋から百年橋の間の土砂堆積箇所の撤去、さらには森林管理署裏の護岸補修2箇所の工事が行われる旨、連絡を受けているところであります。

今後も引き続き、地元建設業者等の協力を得る中で、いち早い復旧・復興、さらには災害に強いまちづくりに向けます、取り組みを進めてまいります。



精査による確定面積は72.1 haとなつた旨、北海道上り報告を受けているところです。

また、既に復旧工事が完了しておりますが、公営住宅等については、敷地内道路における融雪後の不具合箇所の補修を完了するとともに、住宅内部においても不具合箇所がないか確認のうえ、対応しているところであります。

福祉施設では、保健福祉センター「みなくる」の浸水し

ては、今年度実施分の幾寅山
畔地区の福寿橋下流300m
から上流に3kmまでの5工区
すべての工事が発注され、3
月末に完了する予定のほか、
大勝橋から上流2・2km区間
の目標流量が確保できない部
分については、中州の撤去・
現況河川の掘削工事が行われ
る予定であります。

■建設工事の進捗状況

本年9月2日現在の訂発注

工事の進捗状況ですが、災害の応急復旧を優先させるため、一時工事を中止してお

りました平成28年度繰越分の
東幾寅線改良工事につきまし

ては、6月末に完了しているほか、幾寅東団地新築工事は、

平成28年度発注分と合わせて
4棟12戸を工期内に完了すべ
く努力する。

く工事が進められております。
また、黄金の沢川排水路改修
工事につきましては、二月内

工事にござましても 工期内に完了する見込みで工事が進みます。

められております

現在までの 進捗状況とい

福祉旅館では、保健福祉センター「みなくる」の浸水し

現渋河川の掘削工事が行われる予定であります。

められておりま

の幾寅西A団地屋上防水補修工事、新幾寅団地改修及び塗装工事は既に完了し、下金山地区多目的センター防水工事、久住川向線開設工事ほか2件は、工期内に完了する見込みで順調に工事が進められております。

水道事業の金山・下金山地区簡易水道施設整備工事につきましては、実施設計終了後、10月を目途に発注を行い年度内に完了すべく工事を進めてまいります。

委託事業の高等学校校舎・体育館耐震診断調査業務委託事業につきましては、履行期日までに完了するよう進めております。

また、道道の整備では、平成27年度から実施しております金山幾寅停車場線の線形改良工事の5つの橋梁新設のうち、金山側から1カ所目のヘアピンカーブの橋桁架設工事が、現在実施されている旨連絡を受けております。

農業委員会の作況調査報告によりますと、3月までの積雪は平年に比べ若干多かつたものの、融雪は順調に進み、幾寅では平年より3日早く融雪期を迎えました。融雪後、5月にかけて気温が高めに推移したことから、麦類の生育は順調で、馬鈴薯の植えつけやてん菜の移植作業も早めに進みました。その後、6月前半の低温寡照により、水稻で若干の生育の遅れが見られましたが、7月に入り高温・好天に恵まれたことから、各作物とも順調な経過をたどり、8月の低温も生育に大きな影響を及ぼすことなく、現在に至っているところであります。主な作物の生育状況について申し上げますと、水稻は生育期間中に遅速があつたものの、作況指数は「100」で作柄は「並」であります。馬鈴薯及びにんじんについては収穫も順調に進んでおり、生育期間中に特に大きな障害はなく、作況指数はともに「100」で作柄は「並」であり

作物名	作況指數	作柄	り
水 稲	100	並	であります。
馬鈴薯	100	並	そばにつきまし
にんじん	100	並	ては、ほぼ収穫が終わつたと
秋まき小麦	95	やや不良	みられます。が、倒伏も少なく
二条大麦	100	並	作況指數は「106」で作柄
たまねぎ	100	並	は「良」であります。
スイートコーン	100	並	9月1日現在の主要作物別
そ ば	106	良	の作況指數は次のとおりであ
てんさい	100	並	ります。

作物名	作況指數	作柄
水 稲	100	並
馬鈴薯	100	並
にんじん	100	並
秋まき小麦	95	やや不良
二条大麦	100	並
たまねぎ	100	並
スイートコーン	100	並
そ ば	106	良
てん菜	100	並

金山高台地区における醸造用ぶどう栽培の取り組み状況



■町制施行50周年

今後、あわせて現地で実施してい
る微気象の調査結果等を踏まえながら、試験圃の設置を含めた今後の対応について、議会のご意見をいただきながら進めてまいりたいと考えております。

金山高台地区においては、これまで小果樹園開設に向けた試験圃を設置するとともに近隣遊休町有地の有効活用についても検討してきたところであります。そのような中、プライベートワインの製造を目指し、ワイナリーの建設適地を探しておりました民間企業より、当該遊休地における醸造用ぶどう栽培の可能性について相談を受けたところ、この問題を解決するため、本年春に「ぶどう栽培技術研究会」を設立し、この問題を解決するため、本年春に「ぶどう栽培技術研究会」を設立しました。

ついて、町に對して調査研究の実施要請がありましたことから、土壤調査を実施するとともに、結果データ等を上川農業改良普及センター富良野支所へ提示したところ、土壤面では「必要な改良を行う前提で醸造用ぶどうの栽培は可能」との所見を得たところであります

実施し、10月には最後の応援ツアーレを予定しております。シーズン終了後には応援大使によりますトークショーやなどの開催も予定しているところであります。



かなやま湖湖水まつりと併せて開催しましたご当地グルメグランプリにつきましては、7月29日、30日の2日間で過去最高の2万5千人の方々に来場いただきました。また、9月4日には、幾寅地区の避難訓練とあわせて町制施行・

金山ダム完成50周年特別講演会を開催し、約200人の皆様に参加をいただき、いざわらの事業も無事終了させていただいたところであります。

11月18日にはNHKラジオの公開録音「真打ち競演」などが予定されておりまして、町民皆様には広報等を通じて随時ご案内させていただきます。なお、開催に向け調整して

■陸上自衛隊上富良野駐屯地

し、気候の安定する来年7月に実施すべく取り進めてまいります。

教育長の 教育行政報告



平成2年版全国学力・学習状況調査

文部科学省は、小学6年生と中学3年生を対象に4月に行いました全国学力・学習状況調査の結果を公表しました

間、その活動基盤となる指揮所や宿営候補地として、旧東鹿越小学校校舎等施設の一時使用について、町に対し協力要請があつたところであります。

す保健福祉セントラルみなくるを見学いただきながら打合せを行つたところ、南富良野町の復興に対する支援として、できる限り協力したいとの特別な配慮をいただくなかで、開催時期については、開学園における他の行事との調整や具体的な企画準備スケジュール、あるいは冬期間の天候不安などから、今年度の開催を変更

間、その活動基盤となる指揮所や宿営候補地として、旧東鹿越小学校校舎等施設の一時使用について、町に対し協力要請があつたところであります。町といたしましては、これまで富良野沿線市町村とともに、駐屯地の発展に向けた活動を開催してきており、さらには昨年夏の豪雨災害時において、給水活動をはじめ迅速な救助、支援活動により、被災者支援とまちの復旧に多大なご尽力をいただいたところでありますので、このたびの要請に対し協力してまいりたいと考えております。

りました。今回の結果をもとに具体的な改善策を検討し、児童生徒の確かな学力向上に取り組んでまいります。

なお、結果についてわかりやすく説明する観点から、分析と学力向上策等について、分

11月末までに町のホームページにおいて公表を行つてまいります。

動を進めてまいります。

平成26年8月から本町で勤務していただいておりました

■新任外国語指導助手の着任
平成26年8月から本町で勤務していただいておりました

外国語指導助手レベツカ・

カーラーさんが、7月末をもつて3年間の任期満了となりアメリカへ帰国され、後任として8月にアメリカ・コネチカット州からチエルシー・ゴードンさんが着任されました。前任者同様、南富良野中学校を中心に、小学校・高等

学校での外国語指導、さらには英会話教室の講師も務めていたただく予定となつております。

■家庭教育支援「子ども朝活」事業

この事業は、町内小学生を対象に学校、家庭、地域が一体となつた取り組みにより、子どもの生活習慣が乱れがちな長期休業中に学習や運動、体験活動を行うものであります。8月1日から4日まで子どもたちの望ましい生活習慣の定着に向けて、南富良野高等学校生徒や一般ボランティアの皆さん協力により実施されました。児童が参加いたしました。引き続き、地域と連携しながら家庭教育を支援する取り組みを進めてまいります。

■南富良野中学校情報通信備品の整備

本年度予算措置いたしました南富良野中学校における情報通信設備（タブレットパソコン等）の整備につきましては、8月25日に完了しました。学校男子2年生2名がカヤツ学び合うためのツールとして、タブレット等のICT機器を活用し、「楽しい」「わかる」「できる」を意識した学習活

1位となり、8月7日から山形県において開催されました全国高等学校カヌー選手権大会に出場いたしました。男子は惜しくも予選敗退となりましたが、女子は500mシングルで決勝に進み、全国4位の成績を収めました。

■南富良野高等学校等の部活動成績等

去る6月2日、かなやま湖において開催されました平成29年度北海道高等学校カヌー大会において、南富良野高等

学校が見事優勝を果たしました。優勝しました南富良野高等学校チームは、38力国が参加し、10月6日から山形県において開催されます世界選手権大会へ日本代表として出場することになりますことから、教育振興会を通じて必要な支援を講じてまいります。練習の成果を遺憾なく發揮され、活躍されることを期待しているところであります。

権大会へ日本代表として出場することになりますことから、来年2月、韓国の平昌（ピョンチヤン）で開催される冬季オリンピックカーリング競技には、落合出身の山口良野中学校3年生女子1名、南富良野高等学校3年生男子1名、2年生男子2名及び女子1名、1年生男子3名及び女子1名の計9名が出場いたします。

■南富良野高等学校見学説明会の実施



去る9月1日に南富良野高等学校において平成30年4月進学予定者を対象に見学説明会を実施いたしました。参加生徒数は地元南富良野中学校から27名、町外の中学校から21名、合計48名の生徒と保護者10名に参加いただきました。多くの生徒に入学していただきよう、情報発信とPRの強化に努めてまいります。

平成29年第3回臨時議会

8月2日

平成29年第3回臨時会は、8月2日に召集され、提案された議案を原案のとおり可決し、閉会しました。

■一般会計補正予算

歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ174万4千円を追加する補正予算を原案のとおり可決しました。この補正予算により一般会計の歳入歳出予算の総額は42億2417万円となりました。

■総合交通体系等調査特別委員会を設置

総合交通体系等調査特別委員会設置に関する決議が議員提出決議案として提案され、審議の結果、全会一致で可決され、特別委員会が設置されました。

総合交通体系等調査特別委員会は、地方自治法第109条及び委員会条例第4条を設

置の根拠とし、委員定数は7名で構成され、

①JR根室本線の廃止等見直しに関する情報収集及び調査を行うこと

・災害復旧の早期実施につい

て

・JR根室本線の存続に向けた取り組みについて

②旭川十勝道路（地域高規格道路）の整備及び道の駅整備に関する調査を行うこと

・地域高規格道路の整備効果とルートについて

・道の駅整備について

以上の項目の調査等を図ることを目的として設置されました。

委員会は議会の閉会中も開会できるものとし、本件の調査終了まで継続され、委員の任期は議員の任期満了ま

でとするものです。

委員会の構成	
委員長	酒井
副委員長	川村
委員	小鹿野
委員	大道
委員	金
委員	年夫
委員	直由
委員	重博
委員	修一
委員	重治
委員	強彦

■工事請負契約

契約の目的	町道串内1号支線災害復旧工事	町道串内1号線災害復旧工事
契約の方法	地域限定型一般競争入札による契約	地域限定型一般競争入札による契約
契約金額	1億383万1200円 (うち消費税及び地方消費税の額769万1200円)	5905万4400円 (うち消費税及び地方消費税の額437万4400円)
契約の相手方	アラタ・吉岡特定建設工事共同企業体	株式会社増山建設

■副町長の選任

10月31日をもって副町長の任期が満了となることから、任期が満了となることから、引き続き高橋秀樹氏を選任いたいとする議案が提案され、投票採決の結果、全議員の賛成により原案のとおり同意す

■一般会計補正予算

歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ14万円を追加する補正予算を原案のとおり可決しました。この補正予算により一般会計の歳入歳出予算の総額は42億6847万3千円となりました。

■専決処分の承認

衆議院議員選挙の執行経費などを追加するものです。

平成29年第4回臨時会は、10月18日に召集され、提案された議案を原案のとおり可決し、閉会しました。

平成29年第4回臨時議会

10月18日

議会を傍聴してみませんか

町議会は、定例会が年4回（3月・6月・9月・12月）開かれ、そのほか臨時会が必要ある時に開かれます。

町政の運営状況や議員の活動状況を知るためにもよい機会ですので、議会を傍聴してみてはいかがでしょうか。

●次の定例会開催日● 12月13日から15日（予定）

※本会議生中継映像をインターネットで配信していますので、ぜひご視聴ください。





島田 敏男氏



金子 勝氏



中島 康則氏



有馬 晴海氏



北海道町村議会議長会主催の北海道町村議会議員研修会が札幌コンベンションセンターで開催され、7名の議員が出席しました。研修会では、7名の議員で訪れた、戸別受信機や屋外スピーカーなどの整備内容とその運用などについて行政観察を行いました。また、気象情報の発表や地震などの観測を行う札幌管区気象台を訪れ、平成28年8月の豪雨とその要因、防災気象情報の活用について研修しました。

災害時の情報伝達手段としてデジタル防災行政無線を整備している由仁町を議員7名が出席しました。研修会では、6名の議員が出席され、6名の広報委員が参加し広報紙づくりの基本を学びました。研修会は、講師にエディター・広報アナリストの吉村潔氏を招き「議会がもつと身近になる広報紙づくりへ」と題した講義が行なわれ、議会広報の基本と編集技術について学びました。

北海道町村議会議長会主催の議会広報研修会が札幌市において開催され、6名の広報委員が参加し広報紙づくりの基本を学びました。研修会は、講師にエディター・広報アナリストの吉村潔氏を招き「議会がもつと身近になる広報紙

づくりへ」と題した講義が行なわれ、議会広報の基本と編集技術について学びました。

北海道町村議会議長会主催の議会広報研修会が鷹栖町において開催され、8名の議員が参加し講師にエディター・広報アナリストの吉村潔氏を招き「議会がもつと身近になる広報紙づくりへ」と題した講義が行なわれ、議会広報の基本と編集技術について学びました。

北海道町村議会議長会主催の議会広報研修会が鷹栖町において開催され、8名の議員が参加し講師にエディター・広報アナリストの吉村潔氏を招き「議会がもつと身近になる広報紙づくりへ」と題した講義が行なわれ、議会広報の基本と編集技術について学びました。

■全道町村議会議員研修会

(7月4日)

■優良事例視察研修

(7月5日)

■町村議会広報研修会

(8月22日)

■上川管内町村議会議員研修会

(10月24日)

■富良野沿線市町村議会議員研修会

研修会 (10月30日)

■富良野沿線市町村議会議員研修会

議会の動き

平成29年8月～11月

- 8月2日 ○南富良野町議会第3回臨時会
- 5日 ○自由民主党政務調査会新幹線等鉄道調査会 JR北海道対策 P.T 「北海道の交通体系を考えるシンポジウム」（旭川市）
- 9日 ○陸上自衛隊上富良野駐屯地幹部異動に伴う歓迎会（上富良野町）
- 21日 ○まちづくり講演会「地域の鉄道のあり方を考える」（富良野市）
- 22日 ○議会広報研修会（札幌市）
- 24日 ○総合交通体系等調査特別委員会
- 26日 ○富良野地方自衛隊協力会南富良野支部主催による支部役員と第4特科群長兼ねて上富良野駐屯地司令神園雄一氏ほか幹部との懇談会
- 29日 ○第43回南富良野町福祉スポーツ大会
- 31日 ○総務常任委員会
 - 「片岡義博」第1特科団長来町に伴う歓迎会（上富良野町）
- 9月4日 ○南富良野町防災の日 町制施行・金山ダム完成50周年特別講演会
- 9日 ○第35回南富良野大乗会「ふれあいフェスタ」
- 11日 ○衆議院議員ささき隆博ふるさとの集い（旭川市）
- 14日 ○議会運営委員会
- 16日 ○日本共産党 鉄道政策懇談会「北海道の鉄路を未来に引き継ぐために」（札幌市）
- 20日 ○南富良野町議会第3回定例会
- ～22日 ○議会運営委員会 ○全員協議会
○総務常任委員会
○総合交通体系等調査特別委員会
○議会広報特別委員会
- 21日 ○総合交通体系等調査特別委員会（懇談会）
- 24日 ○フォレストタウン記念植樹祭
- 10月4日 ○第3回南富良野町制施行50周年記念事業実行委員会
- 5日 ○上川管内町村議会議長研修会
- ～6日 （中川町）
- 9日 ○上富良野駐屯地の現状規模の堅持
- ～11日 を求める中央要望（東京都）
- 12日 ○陸上自衛隊上富良野駐屯地第14施設群等におけるかなやま湖渡河訓練の参観及び懇親会
- 13日 ○総合交通体系等調査特別委員会

- 10月13日 ○新得町議会・南富良野町議会合同根室本線被災状況現地調査及び意見交換会
- 16日 ○富良野広域連合議会第2回定例会
- 18日 ○南富良野町議会第4回臨時会
○富良野沿線市町村議会議長会定例（秋期）議長会
- 19日 ○富良野圏域における河川整備促進に関する要望活動（旭川市）
○根室本線対策協議会鉄道フォーラムin滝川（滝川市）
- 24日 ○上川管内町村議会議員研修会（鷹栖町）
- 25日 ○青森県五戸町議会行政視察
- 26日 ○総務常任委員会
- 27日 ○南富良野町敬老会
- 30日 ○富良野沿線市町村議会議員研修会（富良野市）
- 11月1日 ○町制施行50周年記念式典
○南富良野町功労者表彰式
○本部町友好の町盟約調印20周年記念歓迎セレブレーション
- 3日 ○南富良野町文化協会総合発表会
- 12日 ○防犯と交通安全の住民集会
- 13日 ○根室本線対策協議会事務レベル検討会議中間報告（富良野市）
- 14日 ○野澤第2師団長防衛講和及び囲む会（上富良野町）
- 15日 ○決算審査特別委員会
- ～17日
- 16日 ○総合交通体系等調査特別委員会（懇談会）
- 21日 ○東京都国立市議会会派行政視察
○上川管内町村議会議長会臨時総会（東京都）
- 22日 ○高齢者事業団設立20周年記念式典
○田浦正人北部方面総監来町に伴う歓迎会（上富良野町）
○町村議会議長全国大会（東京都）
- 23日 ○北海道日本ハムファイターズと小中学生との植樹祭及び野球教室
- 23日 ○上川管内町村議会議長現地研修会
- ～25日 （鹿児島・熊本県）
- 27日 ○南富良野町議会第5回臨時会
○札幌南ふらの会との交流会（札幌市）
- 28日 ○東京ふらの会（東京都）